

2022年度 自己点検・評価報告書

令和5（2023）年11月1日
国際人材開発株式会社
J C L I 日本語学校

自己点検・評価報告書

日本語教育機関名：JCLI 日本語学校

1. 理念・教育目標

【教育理念】

個性を尊重し、心身ともに健康で明るく人間性豊かなグローバル社会で活躍できる優れた人材の育成を図り、夢の実現に導く

【教育目標】

- ・学習を通じて、自分の人生の進路を切り拓く力を持つ人間の育成に努める
- ・自分自身と社会に責任を持ち日本語で自分を表現できる人を育む
- ・学生の学びと成長を支援する

【校訓】

- ・まじめで誠実に努力する
- ・試練を乗り越え、自らを律する
- ・笑顔で元気な大きな声で自ら挨拶する
- ・異なる文化を相互尊重し他者と協調する

点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
1-1. 教育理念、教育目標及び育成する人物像が明確になっているか	A	理念・教育目標・人物像は明確に定められており、各教室にも掲示し周知理解されている。また web サイトでの公開はもとより、学生募集等で配布する学校パンフレットにも記載されており、ステークホルダーに周知されている。
1-2. それらの内容が社会のニーズに合致しているか	A	留学生を取り巻く社会やニーズは刻々と変化しており、それに対応していくための不断のチェックが必要であるとの認識から、就職にも強い日本語学校を視野に、従来の課程(2 課程)を組み替え、2022 年度からは、そこにビジネス日本語コース及び特定技能コースを加え、また、名称も新たに「4 コース」に再編することで東京出入国在留管理局の承認を受け、新たにスタートした。今後は、このコース再編の定員充足率やカリキュラム、卒業後の進路並びにコース新設承認時の東京入国管理局の指摘事項を中心に再編の効果につき検証する。

【評価項目の総合評価】 達成できている

【エビデンス】

1-1. 教育理念、教育目標及び育成する人物像が明確になっているか。

- ① 入学案内
- ② 教室掲示物
- ③ JCLI 日本語学校 Web サイト

1-2. それらの内容が社会のニーズに合致しているか

- ① 日本語教育の推進に関する法律(2019 年 6 月 28 日)
- ② 日本語教育の推進に向けた基本的な考え方と論点の整理について
(文化庁文化語部国語課・2013 年 2 月 18 日)
- ③ 課程再編申請時における入管承知通知

2. 機関の管理運営

点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
2-1. 理念・目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか	A	機関の管理運営に関しては「日本語教育機関の告示基準」に則り、適切に運営されている。
2-2. 組織運営が整備されているか	A	組織規程、運営会議規程、学務委員会規程、事務分掌規程等で規定・整備され、適切に運用されている。
2-3. 学則・組織・人事・財務・学務に関する諸規程が整備されているか	A	学則は改正があった時点で東京入国管理局へ報告している。他の学内諸規程整備は、都度必要に応じ整備を行っている。
2-4. 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか	A	運営会議のもと、研修担当者を指名し、教務部・事務部ともに研修内容を一新し、新たな研修を開始した。それに伴う評価については PDCA で検証を開始する。また、定員管理については、告示基準に則り適切に進めている。
2-5. 情報共有は適切に行われているか	A	WSDB（学生管理システム）及びガルーシ（学内情報共有システム）をメインに行われている。
2-6. 意思決定システムは整備されているか	A	理事長の指揮のもと、運営会議・学務委員会等の委員会が設けられ、教務部・事務部からの要望や提案並びに懸案事項等が審議決定されるシステムが構築されている。なお、緊急の場合には電子稟議で「決裁」することも可能である。
2-7. コンプライアンス体制は整備されているか	B	ハラスメント防止規程、就業規則、組織規程等でコンプライアンス体制は整備されている。今後は、それらを統括した

		「コンプライアンス行動指針」の作成に取り組む予定である。 今年度、ハラスメント防止研修は実施できなかった。
2-8. 危機管理体制（対学生は項目 5 参照）は整備されているか	B	災害時対応はもちろん、情報漏洩等に関しても IT 情報セキュリティ管理規程を整備し、情報システム係を中心に適切に対応しているが、親会社から情報セキュリティ体制が脆弱との指摘があり、担当係中心に対策を検討中である。➡項目 5 にも注意

【評価項目の総合評価】 達成できている

【エビデンス】

2-1. 理念・目標に沿った運営方針や事業計画が策定されているか

- ② JCLI 日本語学校 Web サイト
- ② 第 18 期事業計画

2-2. 組織運営が整備されているか

- ① 組織図

2-3. 学則・組織・人事・財務・学務に関する諸規程が整備されているか

- ① JCLI 日本語学校学則（令和 4 年 4 月 1 日改正）
- ② 人事関連規程
- ③ 学務関連規程

2-4. 教職員の採用・定員管理・研修並びに評価は適切に行われているか

- ① 事務部研修
- ② 教務部研修

2-5. 情報共有は適切に行われているか

- ① WSDB（学生管理システム）
- ② ガルーン（学内共有システム）

2-6. 意思決定システムは整備されているか

- ① 電子稟議
- ② 学務委員会
- ③ 運営会議議事要旨（特に令和 5 年 1 月 10 日）

2-7. コンプライアンス体制が整備されているか

- ① ハラスメント規程
- ② 就業規則
- ③ 組織規程
- ④ 事務分掌規程

2-8. 危機管理体制（対学生は項目 5 参照）は整備されているか

- ① マニュアル有（印刷不可）
- ② IT 情報システム管理規程

3. 教育課程		
点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
3-1. 教育理念に沿った教育課程編成方針が定められ、教育課程が体系的に編成されているか	A	体系的に編成されているが、レベルによって統一されていない部分があるため、2021年度から調整を開始し、2022年度以降に統一を図りたい。
3-2. 日本語教育機関の告示基準第六（教育課程）は守られているか	A	守られている。
3-3. 教育課程改善のための取組は行われているか	B	カリキュラム改善のために、定期的に教務主任を中心とした使用教材に関わる会議が行われている。2021年度も2020年度同様に新型コロナの影響によるオンライン授業への移行によって、カリキュラムや授業内容などは変更を余儀なくされ、各レベルでスケジュールや指導内容を工夫し、オンライン授業といえども学力が下がらぬよう工夫した。基本的な改善事項は検討中である。
3-4. 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか	A	明示されているが、レベルによって統一されていない部分があるため、2021年度調整をして、2023年度以降に統一を図りたい。
3-5. 明確な成績評価や進級、修了の判定基準が定められ、かつ、適正な運用がなされているか	A	成績評価や進級、修了の判定基準がレベルによって統一されていないため、現在、今後はどのようにすべきか検討している最中である。
3-6. 教員の指導力向上のための取組は行われているか	A	教員の指導力向上のために、研修担当を中心に学内研修を行った。2022年度以降も継続して行っていく予定である。 また新任教員には着任後、新任研修を行っており、指導力向上に努めている。
3-7. 教材について、著作権に配慮しているか（※6-3 参照）	B	教材については、教科書を学生、指導教員分購入し配布しており、オンライン授業についても、電子教材を使用し著作権に配慮している。今後は各講師に対し著作権の認識を深めていく必要がある。

3-8. 学生による授業評価は行われているか	A	学生による授業評価は、毎学期終了時点で満足度アンケートを実施し、集計後は学生及び授業担当者にフィードバックした。
【エビデンス】 3-1. 教育理念に沿った教育課程編成方針が定められ、教育課程が体系的に編成されているか ① 1-4. ①に同じ 入学案内 ② 2-3. ①に同じ 学則 (2021 年 4 月 1 日現在) 3-2. 告示基準第六は守られているか ① 2-3. ①に同じ 学則(2021 年 4 月 1 日現在) ② 2021 年度年間予定表 (2020 年 11 月 26 日作成) ③ 授業時間 (講師室に掲示) ④ 卒業証書の受け取りに関するお知らせ (2022 年 2 月 18 日作成) 3-3. 教育課程改善のための取組は行われているか ① 秋学期 教務ミーティング議事要旨 (2021 年 10 月 8 日作成) ② 第一回教務部ミーティング議事要旨 (2021 年 4 月 27 日作成) 第二回教務部ミーティング議事要旨 (2021 年 5 月 25 日作成) 第三回教務部ミーティング議事要旨 (2021 年 6 月 29 日作成) 第四回教務部ミーティング議事要旨 (2021 年 10 月 5 日作成) 第五回教務部ミーティング議事要旨 (2021 年 12 月 22 日作成) 第六回教務部ミーティング議事要旨 (2022 年 2 月 8 日作成) ③ 初中級Ⅱレベルミーティング資料 (2022 年 1 月 12 日作成) 3-4. 学生が到達すべき日本語能力の目標が明示されているか ① 1-4. ①に同じ 入学案内 3-5. 明確な成績評価や進級、修了の判定基準が定められ、かつ、適正な運用がなされているか ① 2-3. ①に同じ 学則 (2021 年 4 月 1 日現在) ② 【試験係】各レベルのおおまかな進級基準 ③ 担任用個人評価表 ④ 成績評価について(2017 年 10 月作成) 3-6. 教員の指導力向上のための取組は行われているか ① JCLI 日本語学校新任研修(2018 年 8 月 10 日作成) ② 日本語学校と入管の関係及び留学ビザについて(2021 年 5 月 25 日配布) ③ 自己レディネス調査 (2021 年 6 月 8 日配布) ④ やさしい日本語マスター (2021 年 6 月 18 日配布) ⑤ 評価法 (2021 年 7 月 20 日配布) ⑥ 面接指導について (2021 年 9 月 14 日配布) ⑦ OPI 的視点から会話レベルを測る (2021 年 10 月 19 日配布) ⑧ レベル別文法 (2021 年 11 月 9 日配布) ⑨ EJU・JLPT の聴解 (2022 年 1 月 17 日配布) ⑩ 日本語能力試験・日本留学試験 (2022 年 2 月 8 日配布)		

- ⑪ 都立高校における日本語教育の現状と課題（2022年2月22日配布）
- ⑫ 異文化理解とふりかえり（2022年3月8日配布）

3-7. 教材について、著作権に配慮しているか

- ① 2021年冬学期使用教材（外部開示禁止）（2020年12月24日作成）
- ② JCLI 日本語学校 2022冬学期 使用テキスト見積書

3-8. 学生による授業評価は行われているか

- ① 2021年春学期対面クラスアンケート（2021年9月27日実施）
- ② 2021年夏学期対面クラスアンケート（2021年12月17日実施）

4. 学修成果

点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
4-1. 学生の日本語能力向上が図られているか	A	日本語力向上のために、レベル内で日々指導内容の改善やスケジュール管理を行っている。
4-2. 学生の日本語能力は本校が定める到達目標・評価基準に達しているか	A	到達目標や評価基準がレベルによって統一されていないため、現在、各クラスの到達目標及び評価基準もまとめ、検討しており、2022年度も引き続き統一に向け、検討を続けていく。
4-3. 学生の進路を適切に把握しているか	A	学生の進路に関しては、進学係が常に学生の進学状況を把握しており、適切にフォロー、指導を行っている。

【評価項目の総合評価】 達成できている

【エビデンス】

4-1. 学生の日本語能力向上が図られているか

- ① 中級を学ぼうテスト
- ② 漢字テスト
- ② 冬学期スケジュール

4-2. 学生の日本語能力は本校が定める到達目標・評価基準に達しているか

- ① ①2-3. ①に同じ 学則（（2021年4月1日現在）
- ② 3-5. ①に同じ 【試験係】各レベルのおおまかな進級基準（作成日不明）
- ③ 3-5. ②に同じ 担任用個人評価表
- ④ 3-5. ③に同じ 成績評価について（2017年10月作成）
- ⑬ 平常点と発話の評価について
- ⑭ 学期末評価表（初中級Ⅰ）

4-3. 学生の進路を適切に把握しているか

- ① 2021年度進学状況一覧

5. 学修成果		
点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
5-1. 学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか	A	学習相談については、2021 年度は各学生に進学担当をつけ指導及び管理を行っている。また進学係を中心にガイダンスや各大学・専門学校の説明会の紹介などを行い、学生の意識が進学に向くよう努めている。 また新たに、進路相談室を設置、学生からの相談等を十分に聞くことができるようするとともに、プライベートレッスンの授業も開始した。
5-2. 学生の在籍管理は十分機能しているか	A	学籍管理係のもと適切に管理されている。
5-3. 健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか	A	健康管理は、年に一度健康診断を行っている。 学生相談窓口を設置、学生が相談しやすい環境を整備している。 学生アンケートを各学期に実施し、学生の要望を学校運営に反映させている。
5-4. 防災や緊急時における体制が整備されているか	A	防災については、年に一度防災訓練（起震車体験及びビデオ視聴）を行い、例年講師学生ともに防災の意識向上を図っている。また、毎年、職員に対して年に一度普通救命講習を行っているが、今年度、王子消防署との合同訓練を実施予定だったが、コロナ蔓延の影響で、消防署側から中止要請があり実施できなかった。
【評価項目の総合評価】 達成できている 【エビデンス】 5-1. 学習相談や進路支援及び在留資格に対する支援が整備されているか 【進路支援について】 ① 2022 度進学状況一覧 【在留資格に対する支援について】 ① 入学案内 ② ビザ更新マニュアル ③ 新コース設置の付言に対する回答 5-2. 学生の在籍管理は十分機能しているか ① 退学者数（長期生）（ガルーン） ② 在籍チェックマニュアル		

5-3. 健康管理や日本での生活指導等の支援体制が整備されているか

- ① 健康診断先生用しおり
- ② 学務委員会（令和元（2019）年度第30回）議事要旨（2020年2月13日）
- ③ 出席率に関わる日本語教育機関からの報告（2019年12月）
- ④ 留学生保険
- ⑤ 留学生保険についてのQ&A
- ⑥ 出席率80%以下マニュアル
- ⑦ 安全な留学生生活のために（印刷物）
- ⑧ 学生指導記録用紙
- ⑨ 健康診断の案内（2019）
- ⑩ 個人調査票（各国語）（2019年6月25日改定）
- ⑪ 最終警告
- ⑫ 出席率のお知らせ10月分（全体80%以上）
- ⑬ 出席率面談（日本語）
- ⑭ 保険料、健康診断量の請求書
- ⑮ 春学期アンケート結果のお知らせ

5-4. 防災や緊急時における体制が整備されているか

- ① 危機管理マニュアル（2019年10月1日作成）
- ② 2021年12月7日 防災訓練についての概要
- ③ 防災備品備蓄在庫標 2021年6月28日更新
- ④ 普通救命講習稟議書 名簿

6. 教育環境

点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
6-1. 日本語教育機関としての施設・設備が十分かつ安全に整備されているか	A	保健室や図書室等、日本語教育機関の告示基準が定めている施設・設備は十分に整備されている。
6-2. 教材は適切か	A	教材は、毎学期教務主任を中心に会議を行い選定している。
6-3. 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか	B	補助教材、生教材の使用に関しては各講師に判断を委ねているのが現状であり、特別な取り決めは設けていない。今後は各講師に対し著作権の認識を深めていく必要がある。
6-4. 学習効果を図るための環境整備はなされているか	A	学生アンケートの要望を受け、自習室やリフレッシュルーム、図書スペースなどを整備改修し、学生が学習に取り組みやすい教育環境づくりに努めている。

【評価項目の総合評価】 達成できている

【エビデンス】

6-1. 日本語教育機関としての施設・設備が十分かつ安全に整備されているか

① 建物の図面

6-2. 教材は適切か

① 3-7. ①に同じ 2020 年冬学期使用教材（外部開示禁止）

6-3. 補助教材、生教材を使用する場合は出典を明らかにするとともに、著作権法に留意しているか

エビデンスなし

6-4. 学習効果を図るための環境整備はなされているか

① 6-1. ①に同じ 建物の図面、 図書館蔵書目録

② リフレッシュスペース写真、茶室スペース写真

7. 入学者の募集

点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
7-1. 入学者の募集は、入学受入れ方針に基づき適切に行われているか	B	2022 年度も、新型コロナの影響により従来の選抜ができなかった為、引き続きオンラインによる「選抜」で入学者を決定し、来日前に入学者のレベル判定を行った。 昨年に引き続き在留資格認定書（COE）は発行されたものの、入国ビザが下りず現地待機の学生が多数生じたが、当該学生の日本語学習意欲が高かったため、出入国在留管理庁の了解を得てオンラインで授業を配信することで正規の学生として入学を許可した。 新型コロナの影響がなくなった時点では（海外渡航が自由に許可されるようになった時点）、従来どおり面接・筆記試験を現地でも実施し入学選抜を行う。その場合は、独自の合格ラインを設け、それに達しなかった者に関しては入学を許可せず、次回合格できるように継続的な学習をアドバイスするなどして、日本語教育機関の告示基準を遵守した入学選抜を継続する。
7-2. 入学志願者に本校の情報は正確に伝えられているか	A	WEB サイトのリニューアルを行った。

7-3. 入学者選抜は適切に行われているか	A	オンラインによる「選抜」で入学者を決定し、来日前に入学者のレベル判定を行った。
7-4. 授業料等の納入金は適切か	A	期限までに全員納入されている。
【評価項目の総合評価】 達成できている 【エビデンス】 7-1. 入学者の募集は、入学者受入れ方針に基づき適切に行われているか ① 予算表 (受け入れ方針はない) ② 短期キャンペーン情報 7-2. 入学志願者に本校の情報は正確に伝えられているか ① 新入生アンケート ② Web サイト写真 7-3. 入学者選抜は適切に行われているか ① 入学前プレースメントテスト 7-4. 授業料等の納入金は適切か ① 経理課で管理しているエクセル集		
8. 財務		
点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
8-1. 当該年度及び中長期的な財務計画は策定されているか	A	月次単位での予算管理を行い、またコロナ禍であってもオンライン授業事業の収入や政府の雇用調整助成金の申請もして財務基盤の安定に努めてきたが、入学者減に伴う大幅な収入減のため、内部留保を取り崩す結果となっている。 なお、四半期ごとに監査役による現金実査、棚卸資産の確認は実施しており、今後も公認会計士及び税理士と連携した適切な会計処理を継続する。
8-2. 中長期的な財務基盤は安定しているか	B	新型コロナの影響で入学者数が激減し経営方針の抜本的な改革が必要である。
8-3. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	A	コロナ禍ではあったが、それに呼応した計画ができているものの、大幅な収入減が及ぼす影響は大きい。
8-4. 財務情報の公表の体制はできているか	A	できている。

【評価項目の総合評価】 達成できていない

【エビデンス】

当該年度及び中長期的な財務計画は策定されているか

- ① 第 17 期及び 18 期予算案及び中長期予算案
- ② 全体ミーティング配布資料 (R5. 2. 7)
- ③ 雇用調整助成金申請書

8-2. 中長期的な財務基盤は安定しているか

- ① 中長期予算案
- ② 全体ミーティング配布資料 (R5. 2. 7)

8-3. 予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか

- ① 中長期予算案

8-4. 財務情報の公表の体制はできているか

- ① 第 17 期決算書及び第 18 期三四半期決算書

9. 法令遵守

点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
9-1. 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守はなされているか	A	日本語教育機関の告示基準に則った出入国管理が行われている。
9-2. 個人情報保護の取組は適切か	A	個人情報保護規程に関する取り組みを職員は理解、実施している。各種マニュアル等も学内共有システムに掲載されており、常時閲覧可能で不明点は確認できる環境にある。

【評価項目の総合評価】 達成できている

【エビデンス】

9-1. 出入国管理及び難民認定法令及び各種関係法令等の遵守はなされているか

- ① 2-3. ①に同じ 学則 (令和 4 年 4 月 1 日改正)
- ② 返納規程

9-2. 個人情報保護の取組は適切か

- ③ 学所在籍マニュアル
- ④ 特定個人情報等取扱規程
- ⑤ 個人情報の取り扱いについて
- ⑥ 情報公開規程

10. 自己点検・評価		
点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
10-1. 自己点検・評価は適切に実施されているか	A	本校では、過去4回自己点検・評価を行い、webサイトで報告書及びエビデンス集を公表している。 今回は、引き続き2022年度を点検評価対象に評価項目を整理し、担当チーム（5名）で日本語教育機関の告示基準に則り自己点検・評価作業を行い、報告書案を取りまとめた。その後、学務委員会、運営会議にて再点検評価を実施し、報告書を完成した。 自己点検・評価作業は毎年行うことはもちろん、今後は外部に委託した評価委員による点検評価を行うなど、改善に努めていく。
10-2. 自己点検・評価に基づく改善には取り組んでいるか	A	取り組んでいる。
10-3. 自己点検・評価結果は公表されているか	A	webサイトで報告書及びエビデンス集を公表している。
【評価項目の総合評価】 達成できている 【エビデンス】 10-1. 自己点検・評価は適切に実施されているか ① 運営会議、学務委員会、自己点検・評価チームの各議事要旨 10-2. 自己点検・評価に基づく改善には取り組んでいるか ① 適宜実施している 10-3. 自己点検・評価結果は公表されているか 本校 Web サイト		
11. 地域貢献・社会貢献		
点検・評価項目	評価	現状・課題・改善計画等
11-1. 本校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	A	前年度に引き続き、目白大学から日本語教師教育実習生を受け入れたほか、東京都立飛鳥高校への日本語教師の派遣並びに王子警察署と大規模災害時における協定は継続している。 また、新規事業として“FAN FUN JAPAN”や奈良県鹿ノ台中学校とのオンライン交流会を実施し、地域・社会貢献度の向上に努めている。

11-2. 学生のボランティア活動への支援は行われているか	C	学生のボランティア活動への支援を引き続き検討するが、コロナの終息が進まないと受入れ先の都合もあって、本校の希望だけでは解決できず、難しい状況が続くと予想される。
11-3. 公開講座等が行われているか	B	公開講座とは趣が異なるがプライベートレッスンを継続している。その延長上でどのような公開講座等ができるか引き続き検討する。
【達成状況】 ほぼ達成できている。 【エビデンス】 11-1. 本校の資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか ① 目白大学担当教官との交信記録 ② 飛鳥高校 日本語夏期講習スケジュール ③ FAN FUN JAPAN 関係資料から何点かを記載 11-2. 学生のボランティア活動への支援は行われているか エビデンスなし 11-3. 公開講座等が行われているか ① プライベートレッスン募集要項		